

今月のおすすめ図書

◆一般図書

思ひ出の記



小泉節子／著 小泉八雲記念館／監修
ハーベスト出版

小泉節子と小泉八雲が過ごした約
13年8ヶ月にわたる結婚生活と、
当時の生活様式も分かりやすく描
かれた口述による回想記。

マンガ 犬が伝えたかったこと



しろやぎ秋吾／著 三浦健太／解説
サンクチュアリ出版

犬を愛するすべての人たちへ。実
話をもとにした20の心温まる犬
の話。ベストセラーのマンガ版。

♥児童図書

十一月の扉



高樓方子／著 福音館書店

偶然見つけた「十一月荘」に心を
奪われた中学生の爽子は、2ヶ月
だけの下宿生活をするに…。
住人たちと過ごしながら少しずつ
成長していく、優しい物語。

12歳までに身につけたいかしこくなる 読書の超きほん



赤木かん子／監修 朝日新聞出版

子どもたちの身近にある「本」、
活用できていますか？図書館の使
い方、いろいろな本の読み方など、
本を楽しく読む方法をマンガやイ
ラストでわかりやすく紹介。

ぶらり らいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 ☎22-2612 FAX22-2637

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、30日（月末資料整理）

講演会「お口と健康」

令和7年度 鳥取大学医
学図書館・米子市立図
書館共催講演会を開催
します。

健康を保つために、な
ぜお口のケアが大切な
のでしょうか。どのよ
うなことに気を付ける
とよいのでしょうか。

お口の健康状態が体に
与える影響や口腔ケアの重要性について、お話しいた
できます。

▷講 師

鳥取大学医学部感覚運動医学講座
口腔顎顔面外科学分野教授
小谷 勇 先生

▷と き

12月6日（土）午後2時～3時30分
開場：午後1時45分～

▷と ころ

米子市立図書館 2階 多目的研修室

▷参加費 無料（要事前申込）

▷申込受付開始 11月6日（木）～

▷申込方法 窓口、電話、FAX

▷定 員 80人（要約筆記あり）



今月の催し（☆印は要事前予約）

「おはなし会」

▽木曜おはなし会（ほしのぎんか・火曜
の会）

毎週木曜日 午前10時40分

▽おはなしがご（米子おはなしがご）

15日（土）午前10時30分

▽夕方おはなし会（職員）

11日（火）午後4時

▽大人のためのおはなし会（米子おは
なしがご）（☆）

29日（土）午前11時

「各種講座」

▽つつじ読書会『老いの思考法』山極
寿一／著（文藝春秋）（初めての方☆）

8日（土）午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会（初めてのの方☆）

9日（日）午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室（☆）

11日（火）午後3時、12日（水）午前10
時30分（4日（火）午前9時受付開始）

※12月の予約は12月2日（火）受付開始

▽古文書研究会「多比能實知久佐」ほか

22日（土）午後1時30分

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

22日（土）午前10時30分

▽伯耆文化研究会「矢田貝家調査プロ
ジェクト研究成果報告」板垣貴志さ
ん（島根大学）ほか

8日（土）午後1時30分

▽「2階ギャラリー」

POPコンテスト2025

1日（土）～29日（土）



米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が
日々の活動をご紹介します！

米子水鳥公園 レンジャー通信

文／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

米子水鳥公園はコハクチョウが夜を過ごすねぐらです。早朝に水鳥公園を飛び立ったコハクチョウは、島根県安来市の水田地帯に移動して、稲の落穂などを食べて過ごし、夕方に水鳥公園へと帰ってきます。

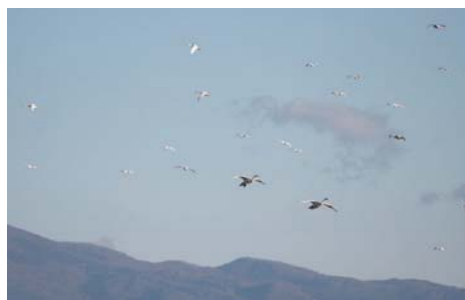
ところが、昨年の11月20日の午後4時ごろに、安来方向からたくさんコハクチョウが次々と飛来してきました。まだ青空の時間帯であり、ねぐら入りにはあまりにも早すぎです。一体何が起きているのかと不思議に思っていると、安来の方から電話があり、コハクチョウが採

米子水鳥公園は緊急避難先

食中の田んぼに、鳥インフルエンザの調査員が立ち入ったと教えてくれました。

以前にも、安来の水田地帯上空に飛行船が飛んできて、田んぼで採食していたコハクチョウの群れがそれに驚き、続々と園内に飛来したことがあります。このように水鳥公園は、中海のコハクチョウにとって、緊急事態が起きた時の避難先としてよりどころになっています。

もしもまた、夕方になる前に園内にコハクチョウが多数飛来してきたら、安来の田んぼで何かが起きたのかもしれない。



青空の中続々と飛来してきたコハクチョウ



緊急避難してきたコハクチョウでにぎわう園内

美術館通信

コレクション展Ⅱ「重なる世界～版画の技巧～」

10月26日（日）～11月30日（日）[水曜日休館]

観覧料：一般 330円（大学生以下、70歳以上の方など無料）
※ 11月3日（月・祝）・15日（土）・16日（日）は無料開放日

版画はその発明以来、複製可能という点から重宝され、石版画・銅版画・シルクスクリーンなど多様な技法が生み出されてきました。素材（版材）・技法によって表情を変える版画は、今や独自のスタイルを創出する芸術ジャンルとして確立されています。本展では、米子市美術館が所蔵している版画コレクションから選りすぐり、作家により異なる表現方法など、その多彩な魅力に迫ります。版の重なりによって生み出されるマチエール（版画特有の絵肌の質感）や色合いなど、版画の奥深い世界をご体感ください。新収蔵品に天野純治（1949～）、橋本興家（1899～1993）も加わり、あわせて当館の版画コレクションをお楽しみください。

☎米子市美術館（☎ 34-2424 FAX 33-0679）



橋本興家《晩秋大山（鳥取）》1970年 木版 紙